

宇都宮市立鬼怒中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「勉強していて、不思議だな、なぜだろうと感じることがある」「学習して身につけたことは将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」に対する肯定率は市・県を上回っている。今後も意欲を持って学習に取り組めるような指導を続けていく。

○「クラスは発言しやすい雰囲気である」「授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる」「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している」に対する肯定率は市・県を上回っている。今後も生徒が進んで話し合い活動に参加できるような雰囲気作りをしていく。

○「自分には良いところがあると思う」「自分の行動や発言に自信を持っている」「先生は学習のことについてほめてくれる」に対する肯定率は市・県を上回っている。今後も自分自身に肯定感が持てるような取組を続けていく。

○「次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか」に対する肯定率をみると、9教科のうち国語、社会、数学、英語、音楽、美術、保健体育、技術・家庭が、市・県を上回っている。

●「次の教科の授業の内容はよく分かりますか。理科」に対する肯定率は市・県を下回っている。課題提示、振り返りを行い、形式的評価をしていくことで、基本的事項の定着に努める。

●「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」「漢字の読み方や言葉の意味が分からないときは辞書を使って調べている」に対する肯定率は市・県を下回っている。図書室の活用、辞書をひく練習の機会を増やすなどして、知る喜びや達成感を味わわせたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学力向上を図るため、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化、基礎・基本の定着度を高める。	○基礎的な力を身につけさせるための夏休みや放課後を利用した補充学習の実施 ○教員の授業力向上を目指した一人一授業の実施と授業研究会の持ち方の充実	○家庭学習力についての肯定率は「家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている」以外すべて市・県を上回っている。 ○「自分の行動や発言に自信を持っている」「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している」に対する肯定率は市・県を上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
○「授業の最後に、学習したことをふり返る活動をよく行っている」「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」に対する肯定率が市・県を下回っている。	○課題解決に対する指導の充実 ○パソコン室やICTの活用を通して生徒の学習意欲を喚起する授業展開の工夫	○授業の目標をはっきりさせ授業の最後に学習内容の振り返りを全教科で確実に実施する。 ○図書室やパソコン室を授業で使用する機会を設ける。